

3 号機原子炉建屋における水漏れについて

3 号機は定期検査中ですが、原子炉格納容器漏えい率検査のため原子炉格納容器内を試験圧力（405 キロパスカル）まで上昇させた後、現場状況を確認していたところ、6 月 20 日午後 7 時 22 分頃、原子炉建屋 1 階の残留熱除去系 * B 系の安全弁から水漏れがあることを当社社員が発見いたしました。このため、当該検査を中断し、原子炉格納容器内の圧力を低下させたところ、当該弁からの漏えいは停止いたしました。

当該弁の点検を行った結果、部品の一部であるパッキンの装着不良が確認されたことから、漏えいの原因は、当該弁を今回の定期検査において分解点検した際、部品の一部であるパッキンがずれた状態に取り付けられたため、原子炉格納容器内の加圧にともない圧力抑制室内の圧力が上昇したことにより、圧力抑制室内の水が当該弁に接続された配管を経由して漏えいしたものと推定いたしました。

対策として、パッキンを新品と取り替えるとともに、ずれを防止するため接着剤を用いてパッキンを固定した上で弁を組み立てることとし、要領書に反映いたします。

なお、当該弁は試験圧力にて漏えいのないことを確認し、その後、当該検査を再開いたしました。

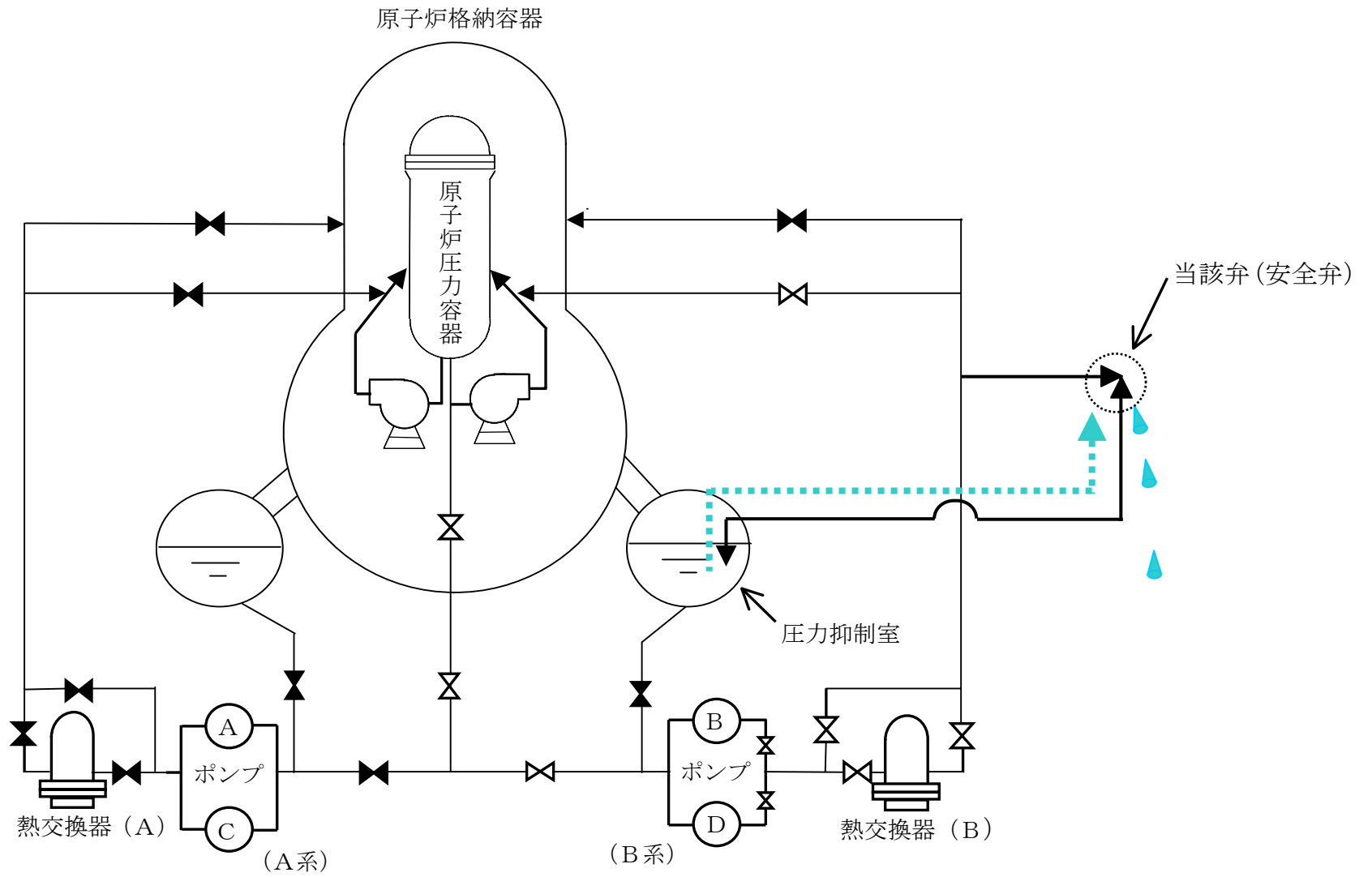
漏えいした水の量は約 2 リットル、放射エネルギーは約 9.6×10^2 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しております。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却（燃料の崩壊熱の除去）や非常時に原子炉水を維持する系統で、2 系統（A 系、B 系）ある。



3号機残留熱除去系 系統概略図